

研究課題名:瀑状胃と生活習慣との関係性

(1) 研究の目的および方法

瀑状胃とは「噴門直下の高さで胃体部後壁が屈曲して、穹隆部が後方へ囊状に区切られている胃形」とされている。瀑状胃の形成は主に肥満体型の横胃に多いが、標準体型の鉤状胃でも見かける事もある。そのため体型によって瀑状胃が形成されるとは限らないということになる。そこで、瀑状胃の方の生活習慣での共通点があるのではないか調査を行う。

(2) 利用する試料・情報

血液検体、尿検体、診療記録、尿検査データ、血液・生化学検査データすべて、画像所見、健診受診事前問診票、受診時健診項目すべて

(3) 利用する者の範囲

中央放射線室 若井 信悟

(4) 研究責任者および連絡先

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1 松波総合病院 中央放射線室

責任者：若井 信悟

TEL：058-388-0111（内線 51478）